

公開例会卓話

講師：湖南省教育研究所 高木 和久 様
会場：十二坊温泉「ゆらら」

「地域の子どもたちを見つめ そして考えよう」

～地域と協働で子どもを育てる 岩根小学校コミュニティスクールの取組から～

今日までの高度経済成長や、社会の急激な変化に伴う大きなうねりの中で、豊かさを求めるが故に、私たちが無くしてきたものは大きい。そして、子どもたちにかかる負担も大きく、荒れや、非行、不登校等様々なリスクを抱えてきた。また、社会が生み出したきめ細かい役割分担社会は人々の自己責任意識を生み、保護者や子どものストレスや孤立感を増幅させ、一方で、格差社会の構造が子どもたちの学びの二極化を顕在化させてきている。



そうした、地域社会と家庭、学校を人々の「汗と絆」でなめらかに繋ぎ、ストレスや孤立感を生まない地域社会を創ること(草の根的なソーシャルインクルージョンが機能する学校・地域づくり)、さらには、子どもたちが地域自治を担う時、少子高齢化はピークとなり、地域を支える担い手を育成していくことは地域の必要不可欠な課題となることから、「コミュニティスクール」をその課題解決策のツールとして設置した。

当初、コミュニティ・スクールの中核機能である「学校運営協議会:理事会」で、「子どもの課題を共有する」ために、子どもたちの様々な実態把握や方策が検討された。そうした中で、学校と地域・家庭が共に子どもの教育課題の解決に向けて汗をかける協働の取り組みが大切である、とのことから、生活に不安を抱える子ども、特別支援教育対象児、外国籍児童への支援を重要課題とし取り組むこととした。

【特別支援ボランティア】



今日ますます個性化する家庭環境の中で、特別支援教育対象児の存在は顕在化し、その二次的な障害として荒れや不登校があったのも現実である。こうした課題を解決するための教職員の増加は見込めない現況から、子どもたちの困り感を少しでも解決する方策を地域のボランティアに求めた。特別支援教育は難しい、資格を持っているのか、プライバシーは漏れないか等々多くの心配の声もあったが、ボランティアへの信頼と課題は全て校長の責任とし、とりわけ子どもに向き合う鋭い感性を持つボランティアに依頼し、子どもたちの困り感の解決に向けた。現在では、特別支援学級の子ども及び普通学級で困り感を持つ子どもへの支援を一週間を通じてボランティア活動が実施され、子どもたちの穏やかな生活や学びの環境も確立しつつある。

【「土曜教室」の取り組み】

学校の教育評価を学校運営協議会で実施された際、子どもたちの学びの二極化の課題が大きなテーマとなった。また、アンケートの結果、家庭での積み上げの学習が不可能な家庭や、不安に思っている家庭が87%にもおよんだ。そのことから、学校、地域でどのようなことが出来るのかを理事会において話し合われた結果、次のような地域主体の取り組みが始動した。



学校で、保護者、子どもと懇談し、了解を得られた子どもたちに、地域の退職教職員、地域の大学生、地域の支援ボランティアが、毎週土曜日、午前中、年30回の学習支援をまちづくりセンターで実施している。

【「店長修業」の取り組み】

「子どもたちにとって学校も地域の一部、地域も子どもたちの学びの学校」を合い言葉に、学校と地域の教育力が子どもたちの育ちを支えていく土壌づくりが、何より大切であると考え、3年生は総合学習で、6年生は夏休みに、地域の商店にお願いし、地域で学ぶ就労体験を実施している。

また、子どもたちの今日的課題である、体験不足、問題解決能力不足、コミュニケーション能力不足と、子どもたちが地域の自治を担う一員としての力を培うために、「子どもをお客さんにしない」をテーマに、湖南ロータリークラブの皆さんの支援と、地域、学校、三者の協働で、思川の河川環境保護の取り組み「ホテル育成事業」を実施し、子どもの主体的な活動を促す取り組みに力を注いできた。



地域よし、家庭よし、学校よしの「三方よし」の中でこそ、子どもは育つと考え、「地域と一となった学校づくり」コミュニティ・スクールを薦めているところです。

幹事報告

幹事 大角 道雄

1. 本日例会は次年度会長井島 均会員の卓話です。
2. 次回例会は川北清満会員の卓話です。
3. 前回の公開例会皆様御協力ありがとうございました。参加者よりアンケート結果を別紙の通りまとめさせて頂きました。このアンケートを参考に今後の活動に反映できればと思っております



委員会報告

親睦委員会より

3月4日5日と兵庫県城崎温泉へ家族親睦旅行へ行きます。
3月4日 8時30分 ロータリー事務所出発となっておりますので出席の皆さんよろしくお願ひ致します。



公開例会

公開例会に区長様、教育委員会、まちづくりセンターからたくさんお越し頂きました。ご講演いただきました高木先生、ご出席いただいたみなさんありがとうございました。

